

平成24年行政事業レビューシート（環境省）

事業名	中間貯蔵設備長期健全性等試験	担当部局庁	原子力規制委員会発足まで：経済産業省原子力安全・保安院核燃料管理規制課 原子力規制委員会発足以降：原子力規制委員会	作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度・平成28年度	担当課室		課長 山形 浩史	
会計区分	エネルギー対策特別会計 電源開発促進勘定	施策名	5 生命・身体の安全 (ただし、原子力規制委員会設置前の施策名)		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特会法第85条第5項第1号ホ 特会法施行令第51条第4項第8号	関係する計画、通知等	【エネルギー基本計画（平成19年3月）】 第2章エネルギーの需給に関し、長期的、総合的かつ計画的に講ずべき施策 第3節 多様なエネルギーの開発、導入及び利用 1. 原子力の開発、導入及び利用 (4)核燃料サイクルの早期確立とサイクル関連産業の戦略的強化		
事業の目的	<p>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</p> <p>使用済燃料の貯蔵事業については、現在青森県むつ市で金属キャスク方式の使用済燃料貯蔵施設が建設中であり、当該審査ではこれまで本事業で蓄積されたキャスク蓋部の長期にわたる経年劣化データを元に設計の妥当性を確認した。今後はコンクリートキャスク方式の施設の事業許可申請が見込まれるが、我が国では当該方式の施設に係る審査・運転実績はないことから、原子炉等規制法に基づく審査、検査等の安全規制を適切に執行するため必要となる技術的知見を、国自ら試験等を実施し取得する。</p>				
事業の概要	<p>事業概要 (5行程度以内。別添可)</p> <p>コンクリートキャスク方式の使用済燃料貯蔵施設を導入している諸外国の安全規制動向及び技術的動向について調査するとともに、我が国における当該施設の導入に当たって必要なコンクリートキャスクの長期健全性に関するデータを取得するための試験を行う。</p> <p>※原子力規制委員会の発足後、経済産業省から原子力規制委員会に業務が移管される予定。</p>				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他				

予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		当初予算	150	89	29	27
	補正予算	-	-	-	-	-
	繰越し等	-	-	-	-	-
	計	150	89	29	27	-
	執行額	104	75	19	-	-
	執行率 (%)	69.3%	84.3%	65.5%	-	-

成果指標	成果実績	項目数	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
			①成果実績は中間貯蔵施設の長期健全性における緊急評価を行う項目数。達成度は各年度の評価項目の達成状況の割合。	1	-	-
	達成度	%	100	-	-	-

成果指標	成果実績	項目数	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
			②成果実績は金属ガスケットの長期密封性能の評価。達成度は当評価の達成度の状況。(平成2~22年度において実施)	1	1	-
	達成度	%	95	100	-	-

成果指標	成果実績	項目数	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
			③成果実績は金属ガスケットの材料に関する強度劣化の評価。達成度は当評価の達成度の状況。(平成21~23年度において実施)	1	1	1
	達成度	%	33	66	100	-

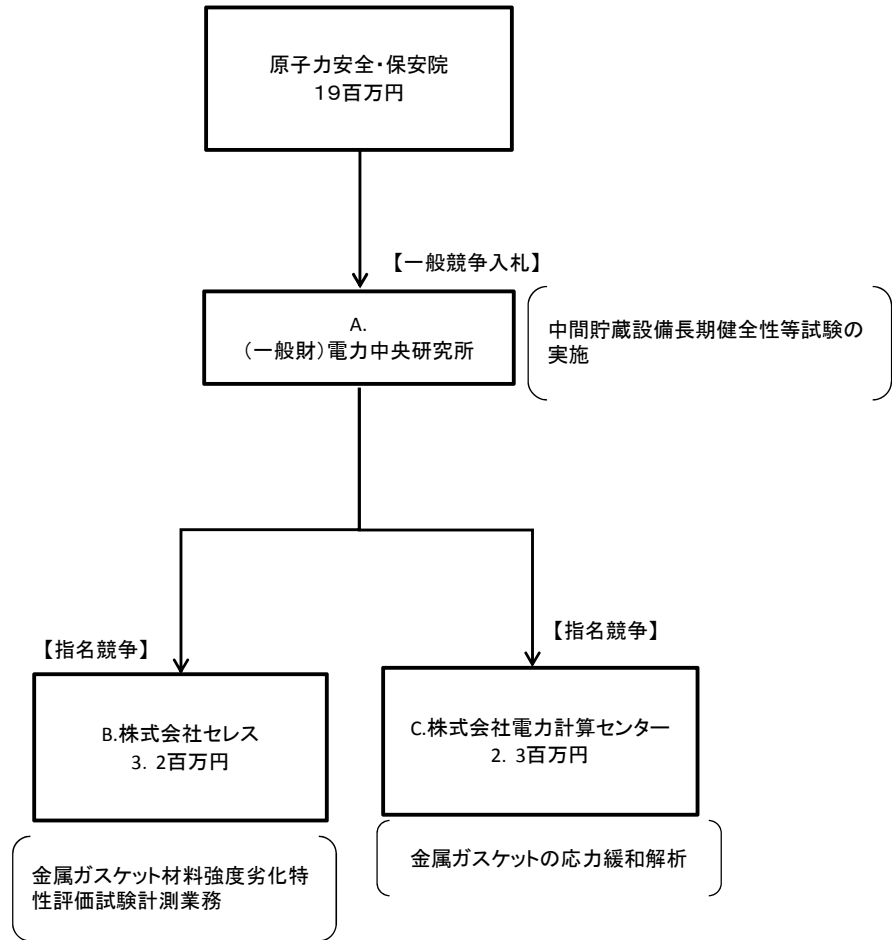
成果指標	成果実績	調査数	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
			④成果実績は使用済燃料貯蔵容器に係る諸外国の規制動向の調査国数。達成度は各年度の評価項目の達成状況の割合。	-	-	-
	達成度	%	-	-	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①活動実績は中間貯蔵施設の長期健全性における緊急評価を行うために実施した試験数。	活動実績 (当初見込み)	試験数	1 (1)	— —	— —	— —
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	②活動実績は金属ガスケットの長期密封性能の評価を行うために実施した試験数。	活動実績 (当初見込み)	試験数	3 (3)	3 (3)	— —	— —
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	③活動実績は金属ガスケットの材料に関する強度劣化の評価を行うために実施した試験数。	活動実績 (当初見込み)	試験数	2 (2)	3 (3)	2 (2)	— (2)
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
④活動実績は使用済燃料貯蔵容器に掛かる諸外国の規制動向の調査数。達成度は各年度の評価項目の達成状況の割合。	活動実績 (当初見込み)	調査数	— —	— —	— —	— (2)	
単位当たりコスト	6,750,000 (円/調査数)	算出根拠	平成24年度当初予算と試験・調査数より、当初予算(27,00千円)を試験・調査数(4件)で平均した額。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	設計作業費	17	16	実証試験に必要な設備製造を実施することによる事業額の増			
	事業費	7	28				
	一般管理費	2	4				
	消費税	1	2				
計	27百万円	50百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国による安全規制のための事業であり、国民のニーズが高い事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札であるが、1者応札で競争性が十分でないことから、委託先においてコスト削減に努めるとともに、合理的かつ真に必要な支出を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	使用済燃料の貯蔵容器の長期の健全性を確認するとともに、得られた技術的課題を安全規制に反映すべく、今後の保安規定整備に活かすとともに、原子力事業者とも試験結果を共有することで今後の安全性の向上策の一つとして活用される。 なお、一部事業においては、十分なデータを取得するための試験時間が確保できなかったため、活動実績が十分ではなかった。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・執行面において既に明らかになった課題はないか、また、その課題に迅速かつ適切に対応しているか <ul style="list-style-type: none"> → これまでのところ、執行面において特段の課題は明らかになっていない。 ・事業の成果目標が立てられているか <ul style="list-style-type: none"> → 規制基準を整備し、審査段階で活用するための関連技術知見の確保という目標を明確にしている。 	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		引き続き効率的な事業実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		効率的な事業実施に努める。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	705	平成23年行政事業レビュー	556

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (一般財) 電力中央研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	役務費、計算費	5.2			
人件費	職員給与等	7.7			
事業費	旅費、海外調査費、委員会費、補助職員人件費、消耗品費等	3.8			
一般管理費	一般管理費	1.1			
消費税	消費税	0.9			
計		18.7	計		0
B. (株)セレス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	2.5			
諸経費	諸経費	0.5			
消費税	消費税	0.2			
計		3.2	計		0
C. 株式会社電力計算センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	2.2			
諸経費	諸経費	0.0			
消費税	消費税	0.1			
計		2.3	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 一般財団法人電力中央研究所

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人電力中央研究所	中間貯蔵設備長期健全性等試験	18.7		

B. 株式会社セレス

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社セレス	金属ガスケット材料強度劣化特性評価試験計測業務	3.2	3	指名競争

C. 株式会社電力計算センター

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社電力計算センター	金属ガスケットの応力緩和解析	2.3	2	指名競争